

3-1 進路指導部集計結果

総合判定 合算(A+B)

◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない

D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	個性・能力の啓発と、それに基づく進路の早期決定を図り、進路目標を確立させている。	6	18	2	0	◎
2	学級担任・教科担任間の緊密な連携により、生徒の個性・能力の総合的な育成を推進している。	8	15	3	0	◎
3	学年間の連携により、段階を踏まえた指導計画・指導体制を確立している。	8	15	3	0	◎
4	進路情報を計画的に提供している。	14	11	1	0	◎
5	自主的な学習姿勢を育て、進路実現を進める進路体制を確立している。	7	15	4	0	◎
6	各係が仕事を分担し、積極的に生徒を指導し、的確な進路指導を目指している。	10	14	2	0	◎
7	宅習課題の適正化の研究・実施と宅習習慣の定着指導がなされている。	5	14	7	0	△
8	公務員・就職希望の生徒のための指導が適切に行われている。	12	7	7	0	△
9	実力考査は、生徒の学力向上、生徒の学力把握に役立っている。	11	14	1	0	◎
10	多目的教室での自学自習は、しっかり行われている。	16	9	1	0	◎
11	受験体験記は、1・2年生の進路指導に役立っている。	11	15	0	0	◎
12	生徒への進路指導は、保護者によく理解されている。	7	16	3	0	◎
13	朝課外の30分間は、有効に活用できている。	11	9	2	0	◎
14	夏季・冬季の課外は、現行の日数が適当である。	10	11	0	1	◎
15	列車通学生にとって、朝課外の開始時刻は現行のままでよい。	16	5	0	1	◎
16	土曜学習は、進路志望実現のための学力向上に役立っている。	9	10	3	0	◎
17	対外模試は、生徒の学力の把握、また生徒の学力向上に役立っている。	13	9	0	0	◎

